

「第3次生物多様性国家戦略」の策定に向けた提言
**「瑞穂(みずほ)と環(わ)の郷づくり」
に向けて**



私たちの基本認識

Japanese Institute of Landscape Architecture

(社)日本造園学会では、人と自然の持続的な関係の再構築という視点から、
社会資本としての自然環境(自然資本)の
新たなあり方を提示することが重要と考えている。

「瑞穂(みずほ)と環(わ)の郷づくり」

美しい国土づくりと、持続的社会的実現のための仕組みや制度の
構築

3

「第3次生物多様性国家戦略」の策定に向けた提言
「瑞穂(みずほ)と環(わ)の郷づくり」に向けて

第3次生物多様性国家戦略」に対する認識1

Japanese Institute of Landscape Architecture

- 新・生物多様性国家戦略:危機的な状況への取り組みの必要性を強調し、一定の成果を得た。
- だが、地球温暖化による生態系・生物多様性への影響は顕在化し、生態系サービスのさらなる低下が懸念される。
- 住民やNPO法人、地方自治体、企業等の多様な主体による取り組みもみられるようになってきているが、まだ個別の動きにとどまっており、戦略的な手段として組織化された動きにはなっていない。

第3次生物多様性国家戦略は、シナリオ分析やアクションプランの検討などを通して、国土の生物多様性保全の目標像を明示し、国民的な合意のもとに具体的行動へ展開していく段階である。

4

「第3次生物多様性国家戦略」の策定に向けた提言
「瑞穂(みずほ)と環(わ)の郷づくり」に向けて

第3次生物多様性国家戦略」に対する認識2

Japanese Institute of Landscape Architecture

■生物多様性保全は地球規模で解決すべき問題との認識が広まってきた



■国際社会のなかで責任ある役割を果たすとともに、わが国の伝統的な自然観と経験に根ざした循環型、自然共生型社会モデルを世界に発信していく



「環境立国」として世界をリードする戦略

5

「第3次生物多様性国家戦略」の策定に向けた提言
「瑞穂(みずほ)と環(わ)の郷づくり」に向けて

Japanese Institute of Landscape Architecture

「瑞穂(みずほ)と環(わ)の郷づくり」に向けて

(社)日本造園学会

私たちからの **7** つの提言

「第3次生物多様性国家戦略」の策定に向けた提言

提言1. 生物多様性保全の視野に立った国土の目標像の明示

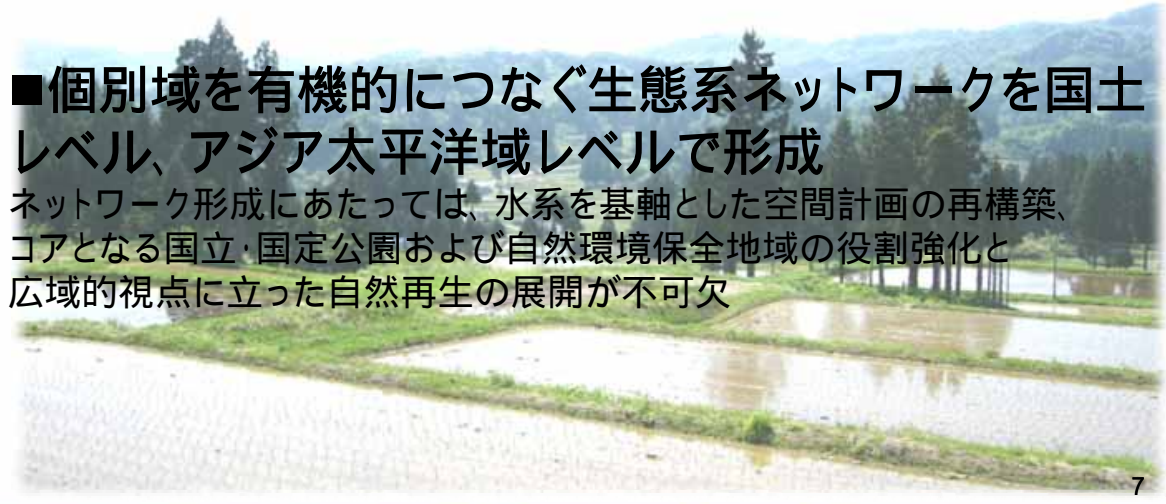
Japanese Institute of Landscape Architecture

■100年先の自然と社会のあるべき姿を見据えた目標像を明示する

都市域、農山村域、奥山自然域、沿岸域や海洋域を含む水域の空間像を提示

■個別域を有機的につなぐ生態系ネットワークを国土レベル、アジア太平洋域レベルで形成

ネットワーク形成にあたっては、水系を基軸とした空間計画の再構築、コアとなる国立・国定公園および自然環境保全地域の役割強化と広域的視点に立った自然再生の展開が不可欠



7

第3次生物多様性国家戦略の策定に向けた提言
「瑞穂(みずほ)と環(わ)の郷づくり」に向けて

提言2. 目標像へ至る長期シナリオの提示

Japanese Institute of Landscape Architecture

■データにもとづく明確な現状認識、それを踏まえたアクションプランを提示する

ミレニアム生態系評価の方法論や成果をふまえ、現代の生活様式や社会動向がもたらす帰結を想定しつつ目標像に至るシナリオを提示する

■わが国の伝統や文化の再評価をふまえて再構築し、シナリオに組み込む

里地里山における資源利用や生産活動など、生業と生物多様性との関係



8

第3次生物多様性国家戦略の策定に向けた提言
「瑞穂(みずほ)と環(わ)の郷づくり」に向けて

提言3. 国際社会における生物多様性保全への貢献と循環型、自然共生型社会モデルの発信

社団法人 日本造園学会
Japanese Institute of Landscape Architecture

■国際的な自然環境管理の仕組みやモデルを構築

外来生物に対する認識や対応、
国内諸活動の他国自然環境への影響に対する予測、
国民の自然環境に対する国際的視野の教育等のあり方を盛り込む

■新たな循環型、自然共生型社会モデルを持続的 社会の形成に向けた取り組みとして世界に発信

「里山」にみられる日本人の伝統的自然観・文化を生かしつつ、
現代の知識や技術を統合



http://www2.odn.ne.jp/~had26900/topics/items/2/lfgao_riceterrace.htm

9

第3次生物多様性国家戦略の策定に向けた提言
「瑞穂(みずほ)と環(わ)の郷づくり」に向けて

提言4. 地域の視点、地域からの発想への配慮

社団法人 日本造園学会

Japanese Institute of Landscape Architecture

■各地域での生物多様性保全に向けた具体的取り組みを 実体化、促進するための新たな法制度や仕組みの創出

地方自治体版生物多様性保全戦略や、
自治体・流域レベルでの「自然環境管理計画」立案制度などを検討整備

■既往の制度の活用

国土形成計画、環境基本計画など関連する他の制度や計画との整合性や
連携に留意



第3次生物多様性国家戦略の策定に向けた提言
「瑞穂(みずほ)と環(わ)の郷づくり」に向けて

提言5 . モニタリングシステムの構築と自然環境に関わる科学的データの整備

Japanese Institute of Landscape Architecture

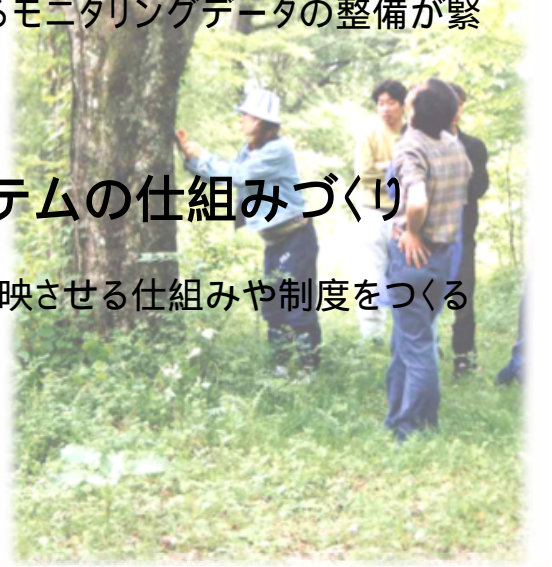
■生物多様性の状態と変動を的確にかつ統一的・継続的にモニタリングするためのシステム構築と運用開始

とくに現在のがわが国において著しく不足している野生動物の生息状態と、海洋生態系に関する情報を適切に把握するモニタリングデータの整備が緊急の課題

■市民参加型モニタリングシステムの仕組みづくり

研究者と行政の協力体制を構築

科学的分析結果を政策決定プロセスに反映させる仕組みや制度をつくる



第3次生物多様性国家戦略の策定に向けた提言
「瑞穂(みずほ)と環(わ)の郷づくり」に向けて

提言6 . 自然環境管理に関わる専門技術者養成と次世代育成

Japanese Institute of Landscape Architecture

■専門家を育成するとともに、彼らの活躍の場や機会の創出が必要

生態系に関して調査・分析・評価する専門家、
国際環境マネジメント

■次世代を担う子供たちに対する環境教育プログラムの充実、環境学習の推進が必要

わが国各地の多様な場を活用が必要。とくに都市域においては、自然環境の再生・修復・創出を促進し、より豊かなふれあいの機会を提供する



12

第3次生物多様性国家戦略の策定に向けた提言
「瑞穂(みずほ)と環(わ)の郷づくり」に向けて

提言7. 多様な主体の参加を促進する仕組みづくり

Japanese Institute of Landscape Architecture

■行政、市民、企業など多様な主体の参加を想定した 自然環境管理の仕組みづくり

自然環境管理に関わる担い手の確保や養成、
資金確保のための予算、税制、融資等さまざまな経済措置、
都市住民や企業、NPOなど多様な主体の参画に向けたインセンティブを高める
ための方策の充実や仕組みの構築

